

TSK 「社会福祉法人つどいの家」

後援会だより ～第94号

「ボッチャ 雑感」 後援会会長 針持哲郎

猛暑と冷夏を繰り返していた夏でしたが、9月に入ってすっかり秋めいてきました。しかし、デルタ株が猛威を振るい、我慢の日常が続いています。

そうした中、57年ぶりに我が国でオリンピックとパラリンピックが開かれました。コロナ禍の中での開催には素直に喜べない気持ちもありましたが、テレビ画面にはどの競技にも持てる力を限界まで発揮しようとする選手の姿があり、観ていて心の中の何かが動いていくのを感じました。

オリンピック、パラリンピック両方の競技の中には、普段よく目にする競技がある一方でこれまで知らなかった競技もあり、「まあ、世の中にはいろんな種目があるものだなあ」と思います。初期のオリンピックでは運動会でおなじみの綱引きもあったそうですし、今回からスケートボードや車椅子バドミントン等も採用されました。

今回のパラリンピックの種目の中で、初めて見た種目の一つが“ボッチャ”です。1988年のソウル大会から正式競技になったそうですから、パラリンピックではもう20年以上の歴史のあることをテレビの解説で知りました。

私がこの競技に魅せられたのは、ボッチャの持つ汎用性です。パラリンピックのような世界大会もありますし、ちょっとした広さがあればどこでもできそうです。手作りのランプがあれば、手の不自由な方でも楽しめます。オリンピックと同じコートやルールで行う競技のある一方で、決められた施設を必要とせず年齢や障害の有無などにかかわらず参加できる、一対一でもチーム対抗でもできる。ボッチャにはそんな可能性がありそうです。

田舎に帰って親子3代で楽しんだり夏祭りにボッチャコーナーができたり、また学区民運動会の種目になったり……etc. パラリンピックが目指す共生社会や、多様性を認め合う社会を具現化した景色を想像しながら、ボッチャの中継について最後まで見入ってしまいました。

つどいの家の各事業所でも、ボッチャを楽しんでおられると伺いました。今はなかなか叶いませんが、いつか利用者の皆さんや後援会員の皆さんとボッチャを楽しみたいと思っています。

□ 令和2年度活動

令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、当初予定していた総会や講演会企画が書面評決、中止を余儀なくされました。制限下での活動を強いられながらも昨年提案させていただいた議題について、話し合いを重ね以下の事項を決定いたしました。

- ・会員区分、会費の見直し
- ・役員会組織、役員数の見直し
- ・事業の整理と形態の見直し

令和2年度決算書

令和2年3月1日～令和3年2月28日

1.収入 (単位:円)

	予算額	決算額	差異 (予算-決算)	摘要
1.会費収入	4,430,000	3,520,500	909,500	
本会員収入	2,400,000	2,101,000	299,000	本会員 131人
一般会員収入	1,515,000	1,245,000	270,000	一般会員 360人
団体会員収入	500,000	160,000	340,000	団体会員 15団体
賛助会員収入	15,000	14,500	500	賛助会員 8人
2.募金箱収入	400,000	354,885	45,115	
募金箱収入	400,000	354,885	45,115	135箇所
3.雑収入	300,418	1,135	299,283	
預金利息	418	35	383	郵貯分 28円 七十七銀行分 1円 郵貯(募金箱)分 6円
セミナー収入	300,000	0	300,000	
その他	0	1,100	△ 1,100	令和元年度バザー収入(過年度処理)
4.前期繰越金	30,582	30,582	0	
前期繰越金	30,582	30,582	0	
収入合計(A)	5,161,000	3,907,102	1,253,898	

2.支出 (単位:円)

	予算額	決算額	差異 (予算-決算)	摘要
1.事務費	405,000	266,941	138,059	
通信費	200,000	177,188	22,812	会報発送 書面表決文書発送
消耗品費	100,000	26,543	73,457	用紙・封筒・ラベル
印刷費	100,000	63,210	36,790	資料印刷代
賃借料	5,000	0	5,000	書面表決により総会会場の使用無し
2.事業費	4,741,000	3,577,391	1,163,609	
運営補助	4,506,000	3,574,891	931,109	法人へ寄付 会費分 3,220,000円 募金箱分 354,891円
セミナー経費	230,000	0	230,000	コロナの影響によりセミナー開催中止
会費	5,000	2,500	2,500	TSK会費
3.予備費	15,000	3,880	11,120	
予備費	15,000	3,880	11,120	口座振替手数料他
費用合計(B)	5,161,000	3,848,212	1,312,788	
当期収支差額(C=A-B)	0	58,890	△ 58,890	

令和2年度収支決算書監査報告

令和2年度「社会福祉法人つどいの家」後援会の金銭出納簿、預金通帳、受領書等について精査した結果、適正に処理されていることを認めます。

令和 3年 4月 7日

会計監査

子葉 貴之 

□ 令和3年度事業計画

- 1) 後援会会員の拡充を図るための活動
 2) 法人への資金的支援
 3) 通信、その他の印刷物の発行
 4) セミナー(講演会・映画会)等の開催
 5) 募金箱の設置活動
 6) その他本会の目的達成のために必要な事業

令和3年度予算

令和3年3月1日～令和4年2月28日				
(単位:円)				
1.収入	令和2年度 決算額	令和3年度 予算額	差異 (予算-前年決算)	摘要
1.会費収入	3,520,500	2,160,000	△ 1,360,500	
運営会員収入	0	1,050,000	1,050,000	350名
賛助(個人)会員収入	0	810,000	810,000	270名
賛助(団体)会員収入	0	300,000	300,000	30団体
2.募金箱収入	354,885	400,000	45,115	
募金箱収入	354,885	400,000	45,115	135箇所
3.雑収入	1,135	300,050	298,915	
預金利息	35	50	15	
セミナー収入	0	300,000	300,000	Webによる研修会
その他	1,100	0	△ 1,100	
4.前期繰越金	30,582	58,890	28,308	
前期繰越資金	30,582	58,890	28,308	
収入合計(A)	3,907,102	2,918,940	△ 988,162	
(単位:円)				
2.支出	令和2年度 決算額	令和3年度 予算額	差異 (予算-前年決算)	摘要
1.事務費	266,941	735,000	468,059	
通信費	177,188	250,000	72,812	総会案内・会報発送費用
消耗品費	26,543	130,000	103,457	用紙・封筒・ラベル
印刷費	63,210	150,000	86,790	総会資料等印刷代・パンフレット印刷代
広報費	0	200,000	200,000	ホームページリニューアル費用・会報発行費用
賃借料	0	5,000	5,000	総会等会場使用料
2.事業費	3,577,391	1,970,000	△ 1,607,391	
運営補助	3,574,891	1,510,000	△ 2,064,891	法人へ寄付 賛助会費 1,110,000 " 募金箱 400,000
セミナー経費	0	300,000	300,000	研修会経費
手数料	0	155,000	155,000	会費振込手数料
諸会費	2,500	5,000	2,500	TSK会費
3.予備費	3,880	213,940	210,060	
予備費	3,880	213,940	210,060	
費用合計(B)	3,848,212	2,918,940	△ 929,272	
当期収支差額(C=A-B)	58,890	0	△ 58,890	

※TSK=東北障害者団体定期刊行物協会

追記

後援会の規約変更により会員区分に変更があったため、会費収入の決算額については内訳の詳細は記載せず、合計金額のみを記載しております。

□ 令和3年度役員一覧

会長	針持 哲郎
副会長	高橋 和
幹事	石井 克子 ・ 山口 収 ・ 大累 貴司
事務局長	堀内 孝雄
事務局(セミナー担当)	福地 美幸 ・ 川口 雅子
事務局(広報担当)	三浦 まち子 ・ 高杉 和豊
事務局(募金箱担当)	梶井 ひろ子 ・ 鈴木 恵雅
会計	阿部 幸生 ・ 鈴木 恵美子
監事	千葉 貴之 ・ 高橋 豊

～日中活動の様子をご紹介します～

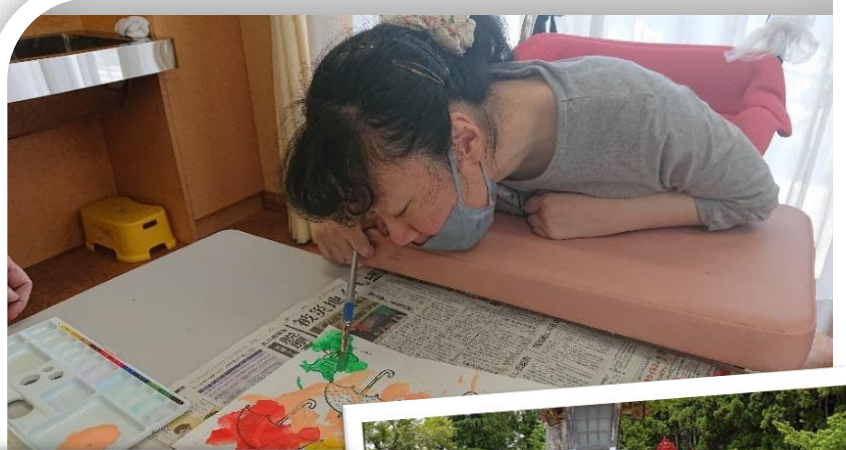


町内会の方と共に八木山動物園駅前のガーデン整備

つどいの家・アプリ



自然豊かな地への外出！



仙台つどいの家



講師の先生が来てくださり、月2回の生け花教室

つどいの家・コペル



募金箱を置いていただいている地域のお店へ



若林障害者福祉センター



フードバンクへの運搬



後援会は利用者さんの笑顔と頑張りを応援しています♡

「すてっぷ・はうす」 スプリンクラー設備で安心安全！



ぴぽっと南光台「すてっぷ・はうす」では、しょうがいのある方のご家族が、病気や急用で介護ができない時、休息したい時などに利用していただく「日中一時支援事業」「短期入所事業」を行っています。

この度、安心安全を守る防災機器として、新たにスプリンクラー設備を設置しました。万が一火災が発生した場合、スプリンクラーが炎の熱を感知し自動放水しますので、しょうがいのある方を介助しながら安全に屋外に避難することができます。

宿泊を伴う施設には、利用者の安全確保のためスプリンクラー設備が義務付けられています。仙台市の場合、グループホームには設置費用の補助金はありますが、短期入所は補助金の対象外です。よって、設置費用は全額自己負担となりましたが、つどいの家後援会をはじめ寄付金によるご支援で設置することができました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

スプリンクラー（水道連結型）の特徴

- ① 早期警報機能（音声メッセージで火災発生を知らせます）
- ② 水漏れしない（熱を感知してから信号で充水します）
- ③ 停電対策（バッテリーが内蔵され停電でも安心）
- ④ 天井の美観（家庭的住環境に配慮シカバー付き）



事務局より

つどいの家後援会 会員募集

社会福祉法人つどいの家では、「どんなに重いしょうがいがある人も、地域で差別されることなく、いきいきと自立した生活ができるよう、自己実現の場を保障し支援する」ことを基本理念に取り組んでいます。

施設整備をはじめとするサービスの充実に、より一層の資金が必要となっています。つどいの家を支える後援会の活動にご賛同いただき、ご入会くださいますようお願いいたします。

- 年会費 運営会員 3,000 円
- 賛助会員(個人) 3,000 円以上 * 議決権なし
- 賛助会員(団体) 10,000 円以上 * 議決権なし
- 協力会員(募金箱設置やポスティング等の協力) * 議決権なし

■入会をご希望の方は、下記方法にて後援会の納入をお願いいたします。

郵便振込 02280-5-30214「つどいの家」後援会

編集者:「社会福祉法人つどいの家」後援会 会長 針持 哲郎
〒984-0838 仙台市若林区上飯田 1-17-58(つどいの家・コペル)
TEL:022-781-1571 FAX:022-781-1573
発行所:東北障害者団体定期刊行物協会
〒981-0907 仙台市青葉区高松 1-4-10 頒価/100円(会費より徴収)